

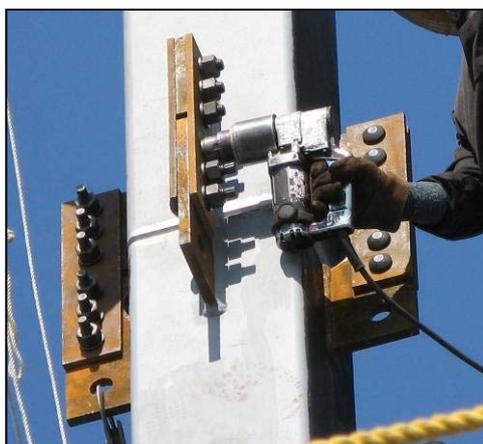
鉄骨工事 Q&A	建方	建入れ調整治具	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 柱建入れ治具を使用する場合の留意事項とは？

A.

建入れ治具は、機械式と油圧式があります。機械式は、建入れ調整および突合せ溶接部の食違い調整の機構と、上下柱の固定機構の3つの機構を併せ持ち、柱継手を現場溶接するまでは、この固定機構で架構に生じる応力に抵抗することになります。また、油圧式は油圧の推力で建入れ調整を行なった後、高力ボルトとスプライスプレートで通常と同様に上下柱を固定するもので、溶接時には建入れ治具を外すことができます。建方施工業者の習熟度等を考慮して建入れ治具は選定されますが、いずれにしろ、

- ・現場の建方工程、建方ブロックおよび建方手順等を十分検討の上、
 - ・風荷重や地震荷重を考慮して建方時の柱継手部に生じる応力を事前に計算
- ということを実施し、治具の耐力に対する安全性、架構の安全性を確認する必要があります。治具の耐力が不足している場合には、台数を4台から8台などに増やす場合もあります。



一般的なエクシジョンピース



機械式
(固定機能付)

油圧式
(固定は通常の高力ボルト締め)

建入れ治具の例